



1 車線逸脱交通事故の発生状況

令和6年中の車線逸脱交通事故（正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の合計）は、前年と比較して、発生件数と死者数、負傷者数とも前年より減少しました。

全人身事故に占める車線逸脱事故の割合は、発生件数では3.5%（3,785件中133件）でしたが、死亡事故では約4割（47人中20人。42.6%）を占めました。

【車線逸脱事故発生状況】

（令和6年中）

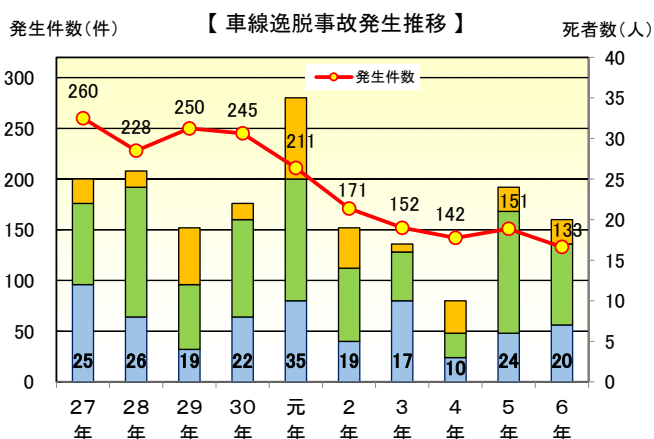
区 分	発生件数	死 亡 事 故		負 傷 者 数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	133	20	20	34	133	167
前 年	151	23	24	59	128	187
増 減	-18	-3	-4	-25	5	-20
率	-11.9	-13.0	-16.7	-42.4	3.9	-10.7

2 車線逸脱事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和6年）

(1) 車線逸脱事故の発生推移

車線逸脱交通事故の発生推移（過去10年間）は、令和元年が死者数がピークとなっており、以後、減少傾向にありましたが、令和5年の死者数は過去10年間で最少だった令和4年から大幅に増加しました。（令和4年→令和5年。増加率140.0%）

また、全人身交通事故に占める車線逸脱交通事故の割合は、発生件数では2.9%～3.8%で推移していますが、死者数になると27.0%～53.8%（過去10年間計526人中217人。41.3%）と高い割合を占めました。

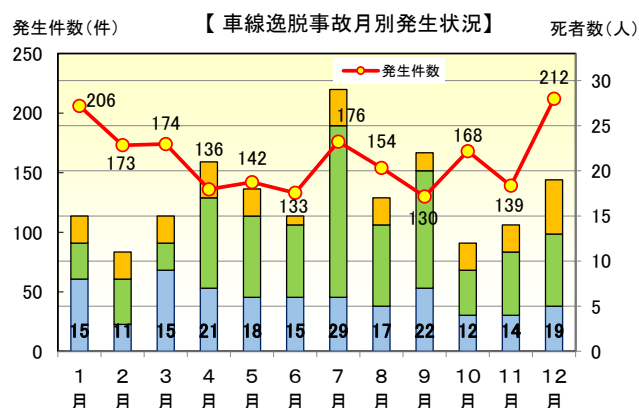


区 分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
交通事故発生件数	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033	3,785
交通事故死者数	66	71	51	56	65	44	42	37	47	47
車線逸脱事故発生件数	260	228	250	245	211	171	152	142	151	133
占める割合	3.0	2.9	3.3	3.6	3.7	3.8	3.5	3.4	3.7	3.5
車線逸脱事故死者数	25	26	19	22	35	19	17	10	24	20
占める割合	37.9	36.6	37.3	39.3	53.8	43.2	40.5	27.0	51.1	42.6

(2) 月別発生状況

過去10年間の車線逸脱事故の月別の発生件数を見ると、12月が最も多く、次いで1月が多くなりました。

発生件数が冬季に多いのに対し、死者数は4月と、7月、9月の暖かい季節が多くなりました。



3 車線逸脱事故の発生特徴等 (令和6年中)

(1) 午前7時台と午前10時台、昼過ぎの発生が多い

発生時間別では、午前7時台から午前11時台に増加する傾向で、午後1時台にピークが見られました。

その他の事故は交通量が多くなる朝夕の通勤・通学時間帯に多発したのに対し、車線逸脱事故は、同時間帯より少し遅めの時間帯及び昼過ぎの時間帯に発生が多くなる傾向が見られました。

(2) 死亡事故は、工作物衝突が減少

死亡事故件数は前年比で－3件と減少し、内訳は正面衝突＋1件、工作物衝突－4件、路外逸脱±0件でした。

人身事故件数は前年比で－18件と減少し、内訳は正面衝突－11件、工作物衝突－6件、路外逸脱－1件でした。

(3) 前方不注意、操作不適による事故が多い

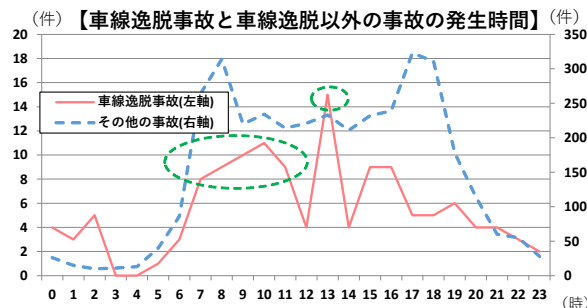
第1当事者の違反別では、前方不注意が57.9% (77件) で最も多く、その他の事故と比較して33.6ポイント高くなりました。

また、操作不適が18.0% (24件) で、その他の事故と比較して10.9ポイント高くなりました。

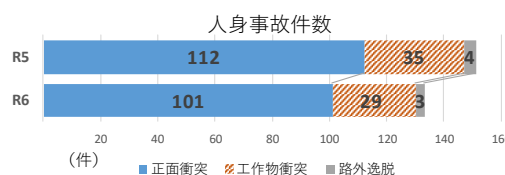
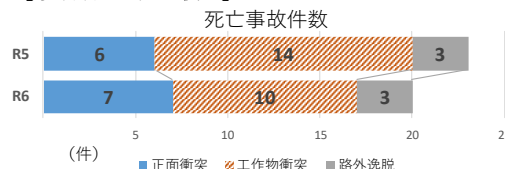
(4) 20代、高齢者による事故が多い

第1当事者の年代別では20代の構成率が24.8% (33人) と高くなりました。

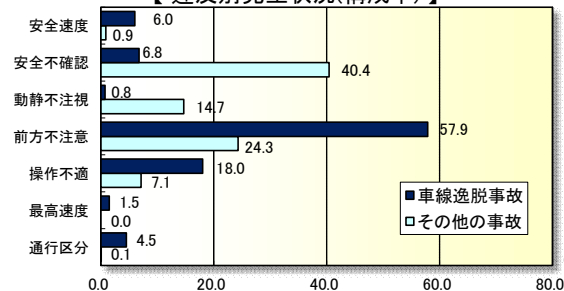
また、高齢者の構成率も28.6%と高くなりました。



【事故類型別発生状況】



【違反別発生状況(構成率)】



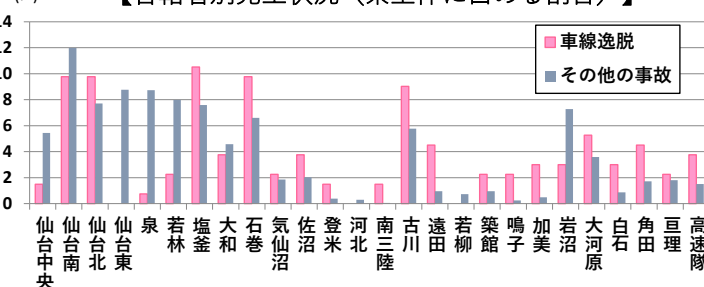
年 代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
第1当事者数	11	33	10	12	17	22	22	6	133	38
構成率(%)	8.3	24.8	7.5	9.0	12.8	16.5	16.5	4.5	100.0	28.6

(5) 仙台市以外での事故が多い

管轄署別の発生割合では、遠田署、古川署、石巻署、塩釜署、角田署などで、署別の県全体に占める車線逸脱事故の構成率が、その他の事故の構成率を大きく上回りました。

仙台市内6署の構成率は24.1% (32件) で、その他の事故 (50.7%。1,850件) と比較して26.6ポイント低くなりました。

【管轄署別発生状況（県全体に占める割合）】



(6) 死亡事故率が高い (基礎データ令和2年～令和6年)

車線逸脱事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)について見ると約1割 (11.88%) に達しており、その他の事故 (0.63%) と比較して、死亡事故率が約19倍となることから、車線逸脱事故は死に至る危険性が極めて高いことが分かります。

【車線逸脱事故とその他の事故の死亡事故率】

	人身事故件数	死亡事故件数	死亡事故率
車線逸脱事故	749	89	11.88%
その他の事故	19,959	125	0.63%

